地域と学べる場

#インタビュ

高知県立大の学生食堂

高知県立大で「カフェ」開く教授

矢吹 知之さん (52)

ている「認知症カフェ」 に狙いを聞いた。 を担う矢吹知之教授(52) 住民ら100人を超える が盛況だ。 9月には地域 で今年から月1回開かれ へが訪れた。運営の中心 ニ講話を聞きます。

第1土曜の午後1時半 どんなことをして のですね て「つながること」。

いるのですか

よく勘違いされるので 誰でも参加できる

第2は新たな出会いをえ 知識を得て「学ぶこと」。 知症にまつわる30分のミ を飲みながら会話し、認 から約2時間、コーヒー 目的の第1は、講話で ん。地域住民にも訪れて です。参加費は飲み物付 解を広める「学びの場」 をなくし、認知症への理 すが、認知症の人だけが きで100円です。 もらい、認知症への偏見 参加する場ではありませ

認知症への偏見と

「何も分からなくな

ともゆき 1972年、 長野県生まれ。 認知症 介護研究・研修仙台センター(仙台市) の研修部長 東北福祉大准教授を経て2023年4月に高知卓福祉学部へ。日本高齢者虐待防止学会理事。 作に「『認知症の人』への接し方のきほん」 に高知県立大社会会理事。編著・著

画 運営マニュアル」の 「認知症カフェ企 幅している。 重症化したイメージが増 段階を踏んでいくのに、 る」というのは大きな誤 誰しも初期があって 症状には個人差があ

学ぶのが有効です。 に広く開かれた、カフェ を感じ、家族も心が揺れ かるケースも多い。 る。最初の対応が変われ のような場所で繰り返し 知症。診断まで時間のか ばその先も変わるのが認 それを知るには、地域 当事者は不安や恐れ 方で、軽視もいけな

状は? 県 63 、 行政が数えたもので、 川県76、愛媛県65、徳島 設などに計8千カ所(香 時点で、介護サービス施 体操をしたり、歌ったり あります。ただ、これは 日本では2022年度 高知県122)

物だと私は考えていま は本来の趣旨とは違う するところもあり、それ うこと。その方が人も集 d_o 委員会をつくっていま の相談を受けている地域 り、誰でも出入りしやす に運営に関わってもらっ 福祉協議会の方々と実行 包括支援センターや社会 代が交流できる。高齢者 く、学生が関われば多世 大切なのは、様々な人

立して追い込まれてい 在宅で介護する家族が孤 門でした。しかし、家族 会に来るのは限られた 著書も出されている へ。地域の理解がなく、 私自身は家族支援が専

そんな時に「認知症力

-認知症カフェの現 フェ」を知り、とても良 紹介させてもらった。 っていた。それを日本に 歌の会になりがちなので とミニ講話の構成が定着 訪ねたら、カフェタイム っかりマニュアルをつく オランダを2014年に た。オランダでも体操や アルツハイマー協会がし いと思った。発祥の地の し、地域の人も訪れてい 大学で開催してい

るのはなぜですか

学校には公共性があ

する契機になります。 まるし、地域の力を結集 (蜷川大介)

> 2024年10月13日 朝日新聞掲載記事 (日)